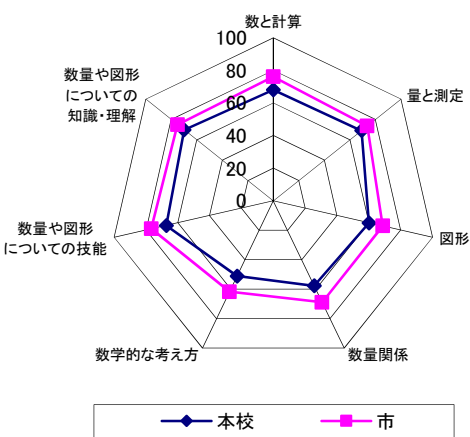


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	68.1	76.1	73.5
	量と測定	69.1	73.6	70.1
	図形	60.1	68.8	66.6
	数量関係	57.7	68.9	64.5
観点別	数学的な考え方	51.2	61.8	54.9
	数量や図形についての技能	67.3	76.7	73.2
	数量や図形についての知識・理解	69.9	75.0	73.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・本校の正答率は68.1%であり、市の正答率を8.0ポイント下回った。 ・数と計算の領域ではどの問題も市の正答率を下回った。特に、真分数＋真分数＝真分数で、分母どうしをかける通分をする計算が55.4%と市の正答率を26.7%大きく下回った。 ・もとにする量×倍の式がもとめているものを求める問題が市の正答率とほぼ同じだった。	・各種の計算問題については、引き続き復習と習熟を行っていく。 ・単に計算ができるだけでなく数学的な考え方をを用いて、適切に問題を処理する力や筋道立てて式や言葉や図などを使いながら説明する力を高めていけるように指導していく。
量と測定	・本校の正答率は69.1%であり、市の正答率を4.4ポイント下回った。 ・他の領域と比較すると市の正答率に近く、理解している児童が比較的多い領域である。 ・直径が与えられた円の面積を求める式を選ぶ問題では、正答率が90.5%と市を1.2ポイント上回った。 ・直方体を組み合わせた形の体積を求める式を選ぶ問題では、正答率が56.8%と市を23.4ポイント下回った。	・量と測定の指導内容は、単元の展開や指導計画に類似性があるので、系統上の既習内容である量の意味や測定の意味の学びを、生かす展開を行っていく。 ・宇都宮市のフォローアップワークシートなどを使い類題を解かせることにより、しっかりと定着を図っていきたい。
図形	・本校の正答率は60.1%であり、市の正答率を8.7ポイント下回った。 ・点対称な図形を選ぶ問題では、正答率が79.7%と市の正答率とほぼ同じだった。 ・六角形の内角の和を求める式を選ぶ問題では、正答率が31.1%と市の正答率を21.0%も大きく下回った。	・多角形の内角の和は、対角線で三角形に分割することにより求められることを確認する。また、実際に多角形に線を引き、三角形がいくつできるかを数えながら確かめさせる。 ・線対称な図形の仕組みとその描き方についてももう一度復習するとともに、身の周りから対称な図形を見つけさせることにより、線対称や点対称を身近なものとしてとらえさせ理解を深めさせる。
数量関係	・本校の正答率は57.7%であり、市の正答率を11.2%下回った。 ・他の領域と比較すると市の正答率から一番差があり苦手としている領域である。 ・反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求める問題では、正答率が18.9%と低かった。	・反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求める問題では、正答率がとても低かったが、市の正答率も41.3%と低かった。宇都宮市のフォローアップワークシートなどを使い定着を図る。 ・表やグラフをかくことで終わりではなく、かいた表やグラフを使って、決まりを見つけることができるよう理解を深めたい。